

2022 年 12 月 7 日

関東ラグビーフットボール協会
理事長 大原 俊一 様
関西ラグビーフットボール協会
理事長 松原 忠利 様
九州ラグビーフットボール協会
理事長 御領園 昭彦 様

(公財)日本ラグビーフットボール協会
専務理事 岩渕 健輔

「セーフガーディング」の取り組みについて(通達)

平素は日本ラグビーの普及発展に多大なるご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

日本ラグビーフットボール協会(以下、「JRFU」といいます。)は、安全で誠実なラグビーを通じてラグビー憲章を守ることを目標に、インテグリティの追求に加え、各種安全対策によるラグビーの信頼性向上の実現を目指しています。

「ラグビーが世界一身近にある国へ」向かっていくために、また [World Rugby Safeguarding Policy](#) 等からも、暴力や虐待、ハラスメントをすべてのラグビーにかかわる場面から排除し、障害の有無、人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的な意見、出身、経済レベルなどの理由による、いかなる種類の差別に反対し、基本的人権、スポーツを楽しむ権利を守らなければならないと考えています。

JRFU ではこの取り組みを「セーフガーディング」として位置づけ、このたび「JRFU セーフガーディング推進ガイド」を新たに策定しました。ラグビーに関係するすべての団体、協会、チームが、主体性を持って取り組むことが必須となります。JRFU では、近年発生しているコンプライアンスの課題を共有し、他競技団体の取り組みを参考としながら、暴力・虐待・ハラスメントをはじめとしたあらゆる問題の発生を未然に防ぎ、問題の発生に迅速かつ適切に対応してまいります。

【セーフガーディング推進ガイド(概要)】 ※詳細については別紙参照

1. JRFU セーフガーディング基本方針

- (1) ラグビーに関わる全ての方に健全な成長の機会を提供する
- (2) あらゆる暴力・暴言を排除する
- (3) あらゆる差別を排除する
- (4) あらゆるハラスメントを排除する
- (5) 健康リスク/環境リスクに対処する

2. JRFU セーフガーディングの対象

推進主体：すべての協会とすべてのチーム ※各チームが推進の主体となる

対象者：日本のラグビーの活動に関わる全ての関係者

対象となる問題：あらゆる種類のハラスメントや虐待、安全・安心を脅かすすべての行動、特に「女性」と「未成年」に関わる問題

※現時点では主にラグビースクールの子どもたちを対象とします。

3. JRFU が提供する施策

JRFU は、セーフガーディングに対応するための①組織、プロセス等を定めたうえで、②問題発生に対応する相談窓口や解決の手段を提供します。また、③問題発生 of 未然防止／再発防止のための研修を多様な形態で提供します。

- ①組織・プロセス：セーフガーディングの仕組み／推進体制、モニタリング／評価体系
- ②相談窓口／解決対応：相談窓口の提供（インテグリティ相談窓口が対応）、JRFU 規律委員会での対応
- ③研修：チーム管理者向け研修、チーム内スタッフ向け研修、協会関係者向け研修 など

4. 登録チームへのお願い

JRFU に登録しているすべてのチームに対し、チーム内のセーフガーディング対応のために必要な体制、プロセス等の整備をお願いします。セーフガーディングは子どもたちを守るためだけのものではなく、チーム内でのハラスメント・虐待・いじめ・差別の発生を防ぐことと、発生した場合に適切に対応することを目的としています。その観点より、以下 3 点への取り組みをお願いします。

- ① セーフガーディングに取り組む責任者の任命／チームとしてのルール作り
- ② 問題発生に対応する相談窓口や解決の手段の提供（外部の窓口や手段の利用を含む）
- ③ 問題発生 of 未然防止／再発防止のための研修の実施

「誰にも相談できない」という状態や問題の「未解決／悪化」を無くすために、チームの中に相談できる仕組みづくりとチームの外に相談できる仕組みの周知をお願いします。

5. スケジュール

2022 年度：具体的なセーフガーディングの活動の開始

2023-2024 年度：JRFU としてのセーフガーディングの取り組みのフレームワークを整備

2024 年度末：2025-2028 年の次期中期での推進計画を策定

三支部協会、都道府県協会におかれましては、当通達の趣旨をご理解いただき、関係各所、チームに周知徹底いただけますようお願い申し上げます。

また、引き続き日本ラグビーフットボール協会インテグリティ相談窓口の周知及び利用について、ご協力を賜れますようよろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先 日本ラグビーフットボール協会インテグリティ推進部門
部門長 齋藤 守弘 mail. m.saito@rugby-japan.or.jp

以上

添付資料 : 1. JRFU セーフガーディング推進ガイド
2. WR Safeguarding Policy (日本語版)

<インテグリティ相談窓口について>

ラグビーにおける暴力行為等に関する相談に対応いたします。

- 暴力行為等に関する相談に対し、外部弁護士が対応します。
- 暴力行為等が明らかになった場合は、必要な対応(指導・処分等)を行います。
- 相談がある場合は、以下のリンクまたは QR からアクセスしてください。

インテグリティ相談窓口はこちらから

https://www.rugby-japan.jp/support_center/

